

名取市愛島で活動している 子どもの居場所「〇〇-まる-」に、
この度の助成により 130冊を超える 絵本、児童書などを
そろえることができました。

私たちはこれらの本を、子ども文庫「〇〇な本棚」と名付けました。
町なかにある小さな図書館として開放しています。

放課後に立ち寄る 子どもたちは、本を手にとり読みふけております。

学校でも家でもない 子どもの居場所で、寝ころがって読んだり

それぞれ好きな場所で、好きな格好で読書しています。

本からつながる子どもの居場所には、これからも活用させて
いただきます。

2013年から5年間 毎週土曜日に子ども図書室を開放していますが、
あまり図書費に予算をかけることができず、新しい本も年に数冊ずつしか
購入することができませんでした。

しかし、今回の助成をいただいたことで、今まで手が出せずにいた
歴史や伝記の全集や図鑑をはじめたくさんの本を購入することができ、
子どもたちからも「夏休みの自由研究のネタにする!」「家族と、行ってみたい
世界遺産の話で盛り上がった」「この本を見て、お菓子を作ってみよう!」と
喜んでもらうことができました。

また、今まで興味になかったことでも、本がきっかけで 関心をもち、更に
自分で調べている子どもたちの姿を見て、改めて本に触れることの大切さ
を感じています。

このような機会をいただいたのも支援して下さる皆様のおかげです。

本当にありがとうございました。

この度は私どもの小さな幼稚園へ、大きなご支援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。
2011年、東日本大震災の津波は、幼稚園園舎の一階部分をすっぽりと飲み込んでしまい、
二階階段の踊り場まで泥が上がっておりました。紙芝居や大型絵本などは全て一階職員室に収
納しておりましたので全てダメになりました。瓦礫撤去を職員が手作業でコツコツと毎日して
おりましたが、紙芝居と絵本の棚は難航しまして・・・というのも、水を含み膨らんだ紙は
お互いに圧をかけて棚から取り出せなくなっていました。それらを出さないと重さで棚すら動
きません。そこで、ノミと金槌を使い、これまで子ども達に愛され親しんできた紙芝居や絵本
を砕きながら出すこと1日かかりでした。本当に涙を流しても流しても・・・。

ご支援でリサイクル絵本などは沢山頂きました。事情を伝えて新しい紙芝居のご支援をいた
だいた団体様もおりました。本当にありがたかったです。

今回は十分な紙芝居と大型絵本を頂戴することが実現して、職員一同、園児と同様に大変嬉しく
感謝しております。毎日かならず読み聞かせの時間を設けておりますので活用させていただきます。
本当にありがとうございました。

※現在「絵本サロン」の実施や「出張絵本読みかせ会」
の開催に向けて準備を進めている所ですが、地域や
ひろばの利用者の方々から、「これから新しい絵本が読め
るのを楽しみにしています」「絵本サロンの実施、楽しみに
しています。身近に絵本があるのは、ありがたいです」といったコメントを
頂いています。